

産地生産基盤パワーアップ事業

都道府県事業評価

都道府県名 大分県

収益性向上タイプ（２）販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状												目標												実績												地域(県又は国を含む) の価格(販売単価)		補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法 (※定量的な検証が できること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
						年度	面積		生産量又は 出荷量		価格(販売単価)		年度	面積		生産量又は 出荷量		価格(販売単価)		年度	面積		生産量又は 出荷量		価格(販売単価)		事業実施 前年度	目標年度																						
							単位	ha	単位	kg	円/k g	円/k g		単位	ha	単位	kg	円/k g	円/k g		単位	ha	単位	kg	円/k g	円/k g																								
杵築市 農業再生 協議会	4	山香	茶	農作物被害防止施設整備 農業機械の導入	総販売額の 10%以上の増加	R1	100,818,375円	47.85	ha	106,222	kg	875	円/k g	R5	112,208,000円	47.85	ha	128,238	kg	875	円/k g	R5	167,080,775円	47.85	ha	207,073	kg	806	円/k g	-	-	-	-	出荷伝票や申告書類等の販売額が確認できる書類に基づいて、実績を検証する。	581.8%	防霜ファンの設置及び管理機の導入により、大幅に販売額の増額に繋がった。	生産量、販売額の拡大が計画されており、目標も達成できている。	契約取引につき価格補正なし												
宇佐市 農業再生 協議会	23	宇佐地区	いちご	施設野菜(いちご)産地の形成の推進	総販売額の10%以上増加 44%増加	H30	総販売額 193,015千円	3	ha	176,190	kg	1,095	円/k g	R5	総販売額 277,601千円	4	ha	229,015	kg	1,212	円/k g	R5	210,730千円	4.11	ha	155,030	kg	1,359	円/k g	1,414	円/k g	1,565	円/k g	0.904	190,358千円	【現状について】H30年度の販売実績から集計する。 【目標について】目標年度の販売実績から集計する。 【価格補正根拠】東京卸売市場・全市場・いちご取引価格実績	-3.1%	栽培管理に失敗したこと等により目標達成に至っていない。高単価時の出荷による販売額の増加や、体制の見直しによる管理体制の整備を図る必要がある。	労働力不足から適期作業が出来ず、収量が減少した生産者がいたことから、目標達成に至らなかった。栽培指導と併せ、雇用の確保に向けた支援を行い、単収向上を進める必要がある。											
	24	宇佐地区	施設野菜(小ねぎ)	施設野菜(GAP)に取り組むこねぎ生産者)産地の形成の推進	総販売額の10%以上増加	H30	総販売額 88,658千円	3.4	ha	120,616	kg	567	円/k g	R5	総販売額 205,102千円	6.8	ha	294,710	kg	696	円/k g	R5	177,874千円	7.5	ha	248,324	kg	716	円/k g	844	円/k g	1,000	円/k g	0.844	150,063千円	目標年度の販売実績から集計し検証する。 【価格補正根拠】東京卸売市場・全市場・こねぎ取引価格実績	52.7%	昨年度に比べ生産量及び販売価格が上昇したが、目標達成に至っていない。豪雨の影響等による出荷量低下等もあったため、対策に努め、出荷量増加を図る必要がある。	昨年より生産量は伸びているものの、豪雨、猛暑等の気象によって生理障害、作業可能時間の短縮が発生した影響で目標達成に至っていない。夏季高温、豪雨の対策を進め、更なる収量・品質の向上を図る。											
	26	高家地区(下高家、上高家、東高家、浜高家)	大麦	大規模経営に対応した農業機械の導入により作業効率を向上し、作付面積の拡大と適期の作付が可能となり単収増による単位面積当たりの販売額10%以上の増加を図る。	単位面積当たりの販売額の10%以上の増加	R2	6,884円/10a	28.1	ha	ニシホ77,378kg	ニシホ25	円/k g	R5	7,614円/10a	46.8	ha	ニシホ142,528kg	ニシホ25	円/k g	R5	7,008円/10a	45.3	ha	ニシホ138,032kg	ニシホ23	円/k g	25	円/k g	23	円/k g	ニシホ1.087	7,618円/10a	作付面積は営農計画書等で確認/販売実績はJA出荷伝票等で確認 【現状】販売額1,934,450円/作付面積28.1ha 【目標】販売額3,563,200円/作付面積46.8ha 【実績】販売額3,174,736円(補正前)販売額3,450,938円(補正後)/作付面積45.3ha	100.5%	中心的経営体の集落営農法人の解散により昨年度と比較して地区面積は減少したものの、浜小路農園は規模拡大を図るとともに単収が向上したことにより、販売額が増加した。その結果、地区としては今年度目標達成となった。	中心的経営体の集落営農法人の解散により昨年度と比較して面積は減少したものの、適期作業の徹底により単収が増加した。その結果、今年度目標達成となった。														
豊後大野市 農業再生 協議会	1	三重町小坂地域	キウイ	灌水施設資材導入により生産設備を整え新たなキウイ産地の確立に取り組む。	販売額の10%以上の増加	R1	2,169千円	7.4	ha	3,155	kg	800	円/k g	R5	46,444千円	10.4	ha	126,757	kg	428	円/k g	R5	176,658千円	12.6	ha	220,217	kg	802	円/k g	-	-	-	-	出荷伝票や販売伝票による検証	394.1%	成園化が順調に進んだ事による生産量及び価格(販売単価)上昇により、成果目標の「販売額の10%以上の増加」を達成した。	適切な幼木管理により生産量が拡大し、目標が達成できている。													

臼杵市 農業再生協議会	4	南野津 地域	茶	乗用型摘採機の リース導入	販売額の10% 以上の増加	R1	191,767千円	68.7 ha	217,714 kg	881	円/k g	R5	214,812 千円	80.2 ha	250,679 kg	857	円/k g	R5	202,595 千円	72.8 ha	224,228 kg	904	円/ kg	-	-	-	-	出荷伝票や申告 書類等の販売額 が確認できる書 類に基づき、実 績を検証する。	46.9%	①平成18年より法人2社が 掛伊藤園の緑茶飲料原料 茶の生産に取り組んでい る。②本事業により摘採機 成農産及び(有)豊後大分 有機茶生産組合の効率的 な作業体制が構築され、 販売額が19.1%増加し た。③意見なし④意見なし	5年度は品質重視の ため、早期摘採を 行ったため、荒茶1キ ロあたりの単価は上 がった。しかし、そ の増加率よりも出荷 量が減少したため、 販売額も低下した。 引き続き品質だけで なく出荷量向上にむ けた栽培管理等を指 導していく。	契約取引 につき価 格補正なし	
玖珠町 農業再生協議会	1	山田	菌床椎茸	菌類栽培施設等を 整備し、生産量の 増加を図る。	総販売額の6% 以上の増加	R2	127,731千円	2.05 ha	150,519 kg	849円/kg	円/k g	R5	162,719千円	2.56 ha	181,000 kg	899円/kg	円/k g	R5	147,726千円	2.56 ha	150,272 kg	983	円/ kg	883	円/k g	1,007	円/ kg	0.877	販売額が確認で きる資料に基づ き検証する 価格補正係数は 主要出荷先であ る福岡大同青果 のR5平均価格 (1,007円/kg)を 使用して算定	5.1%	・R4は達成率96%であり R5年度も目標達成に向 け取り組んでいたが、 責任者が白内障になり (8月受診で判明。11月 手術)、R5年度は思う ような管理ができな かった。 その間従業員を指導し て生産確保の取組を していたが、綿密な管 理ができず単収が減少 し、目標達成に至らな かった。現在は復帰し 体制が整っていること から、今後は目標達成 が見込まれる。	R5年度は責任者の病 気・手術等により一 時的に生産量が減少 しているが、生産体 制も整ったことか ら、引き続き個別指 導及び関係機関と連 携しながら総販売額 の増加に努めてい く。	(事業実施 1年限り)
豊後高 田市農 業再生 協議会	2	美和・ 払田・ 荒尾・ 築地	いちご (ベリ ーツ)	施設野菜産地(い ちご(ベリ ーツ))の形成の推 進	販売額の10% 以上増加 118%の増加	R2	販売額(ベ リーツ) 13,673千円	0.33 ha	10,117 kg	1,352	円/k g	R5	販売額(ベ リーツ) 29,819千円	0.41 ha	22,692 kg	1,314.0	円/k g	R5	50,921 千円	0.66 ha	31,874 kg	1,598	円/k g	1,402	円/ kg	1,565	円/ kg	0.896	大分県農協の販売 実績により検証 【価格補正根拠】 東京卸売市場・全 市場・いちご取引 価格実績	197.9%	5年度から新規ハウス で栽培を開始し、さ らに既存ハウスもベ リーツに転換し、目 標販売額を大きく上 回って達成した。	販売額が計画を大き く超えて伸びてお り、目標を達成して いる。	中山間地 域所得確 保計画と の連携 により面積 要件の特 例

収益性向上タイプ(6) 労働生産性の10%以上の向上

整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状												目標												実績												地域(県又は国を含む) の価格(販売単価)				補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法 (※定量的な検証 ができること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
					年度		面積		生産量又は 出荷量		価格(販売単価)		年度		面積		生産量又は 出荷量		価格(販売単価)		年度		面積		生産量又は 出荷量		価格(販売単価)		事業実施 前年度		目標年度																				
					単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位	単 位																				
佐伯市 農業再生協議会	3	佐伯地区	キウ	産地拡大・省力化 ①ハウス新設による 規模拡大 ②暖房機および選 花機導入による省 力化	労働生産性の 10%以上の増加	H30	労働生産性 11,139 (円/時間)	8.29 ha	2,800	千本	54.6	円	R5	労働生産性 13,998 (円/時間)	8.82 ha	3,226	千本	56	円	R5	労働生産性 14,941 (円/時間)	8.99 ha	1,870	千本	58.2	円	54,702	円	59,428	円	0.92	13,745 円/時間	91.1%	新型コロナウイルスの影響により 出荷本数等が減少しているが、選 花機や加温機、LED電球の導入により 選花作業及び開花揃いの向上による 収穫作業の省力化等により労働生産 性が向上した。今後は、目標達成に 向けて圃場ローテーションや作業体 系を見直し、さらなる栽培管理の効 率化に取り組んでいきたい。	選花機や加温機、LED電球の導入 により選花作業及び開花揃いの向上 による収穫作業の省力化等により 労働生産性が向上した。今後は、 目標達成に向けて圃場ローテーシ ョンや作業体系を見直し、さら なる栽培管理の効率化に取り組んで いきたい。																



基金事業

a 整備事業

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	対象作物名	面積 (ha)	農業者数	事業実施年度	目標年度	取組目標	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)			総事業費 (円)	完了年月日	事後評価の検証方法	費用対効果分析結果	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考			
										現状値	目標値	実績										国費	都道府県費	市町村費
玖珠町農業再生協議会	1	1	山田	菌床椎茸	2.56	1	R3	R5	総販売額の増加	(R2年度) 127,731千円 (R5年度) 162,719千円 (R5年度) 129,548千円 (補正係数 0.877)	高度技術導入施設 ・発生棟4棟 (180㎡×4) ・発生棟空調設備一式 ・発生棟散水設備一式 ・初期培養棟1棟 (297㎡) ・初期培養棟空調設備一式	38,854,555	17,661,000	0	0	21,193,555	R4.3.31	販売額が確認できる資料に基づき検証する	1.36	5.1%	R5年度は一時的に生産量が減少したが、目標達成に向け取り組んでいたが、責任者が白内障になり(8月受診で判明、11月手術)、R5年度は思うような管理ができず単収が減少し、目標達成に至らなかった。現在は復帰し体制が整っていることから、今後は目標達成が見込まれる。	R4は達成率96%でありR5年度も目標達成に向けて取り組んでいたが、責任者が白内障になり(8月受診で判明、11月手術)、R5年度は思うような管理ができず単収が減少し、目標達成に至らなかった。現在は復帰し体制が整っていることから、今後は目標達成が見込まれる。	R5年度は責任者の病気・手術等により一時的に生産量が減少しているが、生産体制も整ったことから、引き続き個別指導及び関係機関と連携しながら総販売額の増加に努めていく。	除税額 3,532,229円 うち国費 1,766,098円

b 生産支援事業

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	対象作物名	面積 (ha)	農業者数	事業実施年度	目標年度	取組目標	事業内容 (機械(能力、台数)、リース機械(能力、台数)、資材費等)			総事業費 (円)	完了年月日	事後評価の検証方法	費用対効果分析結果	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考			
										現状値	目標値	実績										国費	都道府県費	市町村費
日田市果樹産地活性化協議会	1	2	日田市地区	梨	34.27	16	R3	R5	輸出处出荷量10%以上の増加	(H30年度) 45.64t (R5年度) 50.21t (R5年度) 38.98t	【リース】 SS 3台 運搬機 8台 兼用モア 3台	41,795,600	18,996,000	0	0	22,799,600	R4.3.31	部会の実績数値による検証	-	-145.7%	夏の異常高温による内部障害や貯蔵障害により輸出品質が減少した。今後は品質向上に努め輸出品の増加を目指す。	夏の異常高温による内部障害や貯蔵障害により輸出品質が減少した。今後は、選果機の新システムとセンサーの導入や適正な貯蔵管理により品質向上に努め輸出品の増加を目指す。	台湾、ベトナムへの販促活動の再開により輸出品が増加した。今後も関係機関と連携し個別巡回指導等を強化し、目標達成を目指す。	該当なし
佐伯市農業再生協議会	3	1	佐伯地区	キウ	8.82	13	R3	R5	単位面積当たりの労働時間縮減(45時間)	(H30年度) 10a当たり労働時間336時間 (R5年度) 10a当たり労働時間291時間 (R5年度) 10a当たり労働時間166時間	【リース機械】 選花機: 1台 【生産資材】 (内張シェード)	3,000,000	1,225,000	204,000	205,000	1,061,000	R4.3.31	事業取組主体の経営実績を作業日誌等から検証する。	-	377.7	新型コロナウイルスの影響でキウの需要が落ち込み、出荷本数を減少させた。しかし、LED・暖房機・選花機の導入で開花が揃い、秀品率が向上し病害虫防除・収穫調整・圃場片付け等の作業が大幅に短縮された。	新型コロナウイルスの影響により出荷本数が減少している。選花機や加温機、LED電球の導入により選花作業及び開花揃いの向上により単位面積あたりの労働時間の削減を図り、目標を達成することが出来た。今後も継続して省力化及び効率的な栽培管理に取り組んでいきたい。	選花機や加温機、LED電球の導入により選花作業の省力化による開花揃いの向上による選花作業の省力化により単位面積あたりの労働時間の削減を図り、目標を達成することが出来た。今後も継続して省力化及び効率的な栽培管理に取り組んでいきたい。	除税額 272,727円 うち国費 136,363円

豊後大野市農業再生協議会	1	1	三重町小坂地域	キウイ	3.01	6	R3	R5	販売額の増加	(R2年度) 2,169千円	(R5年度) 46,444千円	(R5年度) 176,658千円	【生産資材】 灌水施設資材 (359a) 果樹棚 (301a)	41,833,088	19,015,000	0	0	22,818,088	R4.3.31	出荷伝票や販売伝票による検証	—	394.1	取組み目標を達成した。	成園化が順調に進み、生産量及び価格(販売単価)上昇につながり、目標を達成した。	適切な栽培管理により生産量が順調に伸び、目標を達成した。	除税額 3,803,008円 うち国費 1,901,500円
臼杵市農業再生協議会	6	1	野津	ピーマン	1.88	18	R3	R5	総販売額の14.4%以上の増加	(R2年度) 総販売額 84,858,005円	(R5年度) 総販売額 204,029,839円	(R5年度) 総販売額 195,329,913円	パイプハウス資材 188.26a (ハウス本体資材(パイプ)、被覆資材(ビニール)、灌水資材(チューブ、フィルター、液肥混入器、圧力計)、付帯資材(遮光ネット、防草シート、防虫ネット)、ピーマン支柱、保温シート)	49,500,000	24,565,000	0	5,791,000	19,144,000	R4.3.31	出荷・販売実績を確認できる書類(出荷伝票等)を用いて成果の検証を行う。	—	92.6	黄化えそ病対策を徹底することで大きく販売額を伸ばしたが、一部生産が軌道に乗らない生産者があり、目標には到達しなかった。	黄化えそ病対策を徹底することで大きく販売額を伸ばしたが、一部生産が軌道に乗らない生産者があり、目標には到達しなかった。	病害対策を徹底し、生産量を大きく伸ばした。引き続き収量の向上に取り組んでいく。	除税額 369,601円 うち国費 184,798円
臼杵市農業再生協議会	4	2	南野津地域	茶	39.6	12	R3	R5	販売額の10%以上増加	(R2年度) 103,514千円	(R5年度) 113,949千円	(R5年度) 94,637千円	乗用型摘採機(27.5PS、1台)のリース導入	8,965,000	3,500,000	1,166,000	1,168,000	3,131,000	R4.3.31	出荷伝票や申告書類等の販売額が確認できる書類に基づき、実績を検証する。	—	-85	5年度は品質重視の栽培を行ったため出荷が減少し販売額が減少した。今後は品質と出荷量両方の向上を目指す。	5年度は品質重視の栽培だったため、品質は向上しているが、品質はより良いものを目指している。今後は品質と出荷量両方の向上を目指す。	5年度は品質重視のため、早期摘採を行ったため、荒茶1キロあたりの単価は上がった。しかし、その増加率よりも出荷量が減少したため、販売額も低下した。引き続き品質だけでなく出荷量向上にむけた栽培管理等を指導していく。	除税額 815,000円 うち国費 350,000円
杵築市農業再生協議会	4	1	山香	茶	47.85	6	R3	R5	総販売額の10%以上の増加	(R2年度) 100,818,375円	(R5年度) 112,208,000円	(R5年度) 167,080,775円	リース乗用型管理機(1台) 型番MP20型 定格出力 31.6kw/2400pm、 馬力43.0ps	5,672,700	2,578,000	859,000	861,000	1,374,700	R4.3.31	出荷伝票や申告書類等の販売額が確認できる書類に基づいて検証する。	—	653.8	管理機の導入により、茶葉の収穫が進み販売額が増えている。今後はお茶の産地として、生産量、販売額を伸ばしていく。	管理機の導入により、計画通り収穫の増加に繋がっている。今後はお茶の産地として、生産量、販売額を伸ばしていく。	生産量、販売額の拡大が計画されており目標も達成できている。	除税額 515,700円 うち国費 257,800円
宇佐市農業再生協議会	26	1	高家地区(下高家、上高家、東高家、浜高家)	大麦	27.5	1	R3	R5	単位面積当たりの販売額の10%以上の増加	(R2年度) 6,648円/10a	(R5年度) 8,050円/10a	(R5年度) 7,468円/10a	【機械リース】 コンバイン6条 YH6115 1台	14,400,000	6,545,000	0	0	7,855,000	R4.3.31	作付面積は営農計画書/販売額は出荷伝票 【現状】販売額365,000円/作付面積8.8ha 【目標】販売額2,213,750円/作付面積27.5ha 【実績】販売額2,822,836円/作付面積37.8ha	—	58.4	昨年度に比べ、更なる農地拡大に取組み、売り上げも向上した。しかし、販売単価等の影響により目標未達という形となった。引き続き農地集積と単収増加を目指し、目標達成に向けて取り組んでいく。	浜小路農園は昨年度に比べ、更なる農地拡大に取組み、売り上げも向上した。しかし、販売単価等の影響により目標未達という形となった。引き続き農地集積と単収増加を目指し、目標達成に向けて支援をしていく。	取組主体は、R5年度において更なる農地集積に取組み目標以上の面積拡大を行った。また単収も向上したことにより、売り上げも向上した。しかしながら、販売単価等の影響により目標未達という形となった。引き続き単収増加について指導を行い、目標達成に向けた支援を行っていく。	除税額 1,309,090円 うち国費 654,499円

整備事業

H30年度

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	対象作物名	面積 (ha)	農業者数	事業実施年度	目標年度	取組目標	取組目標			事業内容 (工程、施設区分、構造、規格、能力等)	総事業費 (円)				完了年月日	事後評価の検証方法	費用対効果分析結果	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県等の評価	備考		
										現状値 (H29年度)	目標値 (R5年度)	実績 (R5年度)		国費	都道府県費	市町村費	その他										
宇佐市農業再生協議会	18	1	安心院	茶	49.75	5	H30	R5	茶加工施設建設による荒茶加工量の増加	53,944kg	84,590kg	73,195kg	茶加工施設 ・ 建屋(1400㎡)・生葉洗浄除水工程 ・ 殺青(中火)工程・乾燥工程 ・ 合組梱包結束工程・付帯工事	600,600,000	273,000,000	20,250,000	20,250,000	287,100,000	R2.3.31	茶加工工場の荒茶加工実績を確認	1.15	62.8%	成圃化に伴う収穫量の増加により順調に生産量が増加している。	成圃化に伴う収穫量の増加により順調に生産量が増加している。	造成の遅れにより一部圃地の整備と新植が遅れていたが、成圃化に伴う収穫量の増加により生産量が増加している。		除税額 54,600,000円 うち国費 27,300,000円
佐伯市農業再生協議会	2	1	佐伯・蒲江・米水津	ハウスみかん	0.82	4	H30	H35	販売額の増加	0円	34,004千円	30,301千円	低コスト耐候性ハウス 8棟 (8,232㎡)、谷・側・妻換気設備、二重カーテン設備、換気扇設備 (MGS-10756)、循環扇設備 (風来望 II)、電気設備、灌水設備、暖房設備 (HK8026TFV)、複合環境制御装置 (ネボン: アグリネット一式)	139,868,850	63,576,000	15,894,000	15,896,000	44,502,850	R2.3.6	平成35年度JA出荷伝票や確定申告書類など販売額が確認できる書類に基づいて実績の検証を行う。	1.424	89.1	一部を除いて概ね予定どおりの栽培ができた。	一部を除いて概ね予定どおりの栽培ができた。	一部を除いて概ね予定どおりの栽培ができた。		除税額 12,715,350円 うち国庫 6,357,600円

R3年度

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	対象作物名	面積 (ha)	農業者数	事業実施年度	目標年度	取組目標	取組目標			事業内容 (工程、施設区分、構造、規格、能力等)	総事業費 (円)				完了年月日	事後評価の検証方法	費用対効果分析結果	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県等の評価	備考			
										現状値 (R2年度)	目標値 (R5年度)	実績 (R5年度)		国費	都道府県費	市町村費	その他											
臼杵市農業再生協議会	6	2	臼杵・大分・佐伯	ピーマン	24.2	161	R3	R5	総販売額の49.4以上の増加	856,801,747円	1,280,481,781円	1,072,224,946円 (補正係数1.0627)	集出荷貯蔵施設3,807㎡選別、調製及び包装施設 (箱詰・製品搬送設備機器1式、建屋増設780㎡、選別設備機器1式、荷受設備機器1式、製園・空箱搬送設備1式)	833547000	378885000	189442000	60367000	204853000	R4.3.31	出荷・販売実績を確認できる書類 (出荷伝票等) を用いて成果の検証を行う。	1.03	50.8	R5年度は前年の黄化えその封じ込めを図るとともに、新規就農者の確保や既存生産者の規模拡大により作付面積が減少したが、まん延防止に取り組んだことにより出荷量は前年を上回る事ができた。	R5年度は前年の黄化えその封じ込めを図るとともに、新規就農者の確保や既存生産者の規模拡大により作付面積が減少したが、まん延防止に取り組んだことにより出荷量は前年を上回る事ができた。	引き続き黄化えその封じ込めを図るとともに、新規就農者の確保や既存生産者の規模拡大により達成を目指す。	病害対策を徹底したうえで、産地規模の拡大を図ることにより達成を目指す。		除税額 75,777,000円 うち国費 37,888,500円
佐伯市農業再生協議会	4	2	佐伯地区	いちご	0.23	1	R3	R5	総販売額の増加	0円	13,956千円	17,293千円 (補正係数0.915)	低コスト耐候性ハウス(1棟・2,303㎡、35m/s)、二重カーテン、加温機、換気扇、循環扇、灌水設備	74954880	37477000	9369000	9371000	18737880	R4.3.31	出荷伝票や申告書類など販売額が確認できる書類に基づいて実績の検証を行う。	1.14	123.9	栽培1年目であったが、病気が少なく概ね計画どおりの栽培ができたため、目標達成できた。	栽培1年目であったが、病気が少なく概ね計画どおりの栽培ができた。	病害対策や適期管理に取り組み、目標を達成した。		該当なし	

豊後高田市農業再生協議会	2	1	美和・弘田・荒尾・築地	いちご(ベリーツ)	0.33	1	R3	R5	総販売額10%以上の増加	ベリーツ販売額7,166千円	ベリーツ販売額26,336千円	ベリーツ販売額48,723千円(補正係数0.896)	低コスト耐候性ハウス(2,680㎡:栽培棟2,160㎡、集中管理棟520㎡(35m/s)) 炭酸ガス発生装置2台 養液培養装置一式 加温機一式 循環扇20台 等	99,792,000	49,896,000	12,474,000	12,474,000	24,948,000	R4.3.31	大分県農協の販売実績により検証	1.07	216.7	R5.3に完成したハウスで5年度から栽培開始し、計画どおりに生産できた。さらに既存ハウスもベリーツに転換したことで、生産量・販売額が増加し目標を達成できた。	5年度から新規ハウスで栽培を開始し、さらに既存ハウスもベリーツに転換し、目標販売額を大きく上回って達成した。	販売額が計画を大きく超えて伸びており、目標を達成している。	該当なし 中山間優先枠
宇佐市農業再生協議会	23	2	宇佐	いちご	0.32	1	R3	R5	販売額皆増	0円	23,936千円	22,760千円(補正係数0.904)	低コスト耐候性ハウス(35m/s)(2棟、2,246.4㎡) 炭酸ガス発生装置2台、加温機2台、循環扇8台	75,044,200	37,522,000	9,380,000	9,382,000	18,760,200	R4.3.31	受益者の申告書類や出荷伝票等の販売実績が確認できる書類に基づいて販売額を集計し検証を行う。	1.01	95.0	年間通してのハウス活用を行い、販売額が増加したが、目標達成に至らなかった。	昨年度より販売額は増加しているが、目標達成に至っていない。	販売額は増加しているが、目標達成に至らず、栽培計画を見直し、高単価時期の出荷を増やすことで販売額の増加を図る。	該当なし
宇佐市農業再生協議会	24	2	宇佐	小ねぎ	1.37	2	R3	R5	販売額皆増	0円	29,371千円	21,515千円(補正係数0.844)	低コスト耐候性ハウス(35m/s)(51棟、137a) 自動灌水設備	142,648,159	71,324,000	17,831,000	17,832,000	35,661,159	R4.3.31	受益者の申告書類や出荷伝票等の販売実績が確認できる書類に基づいて販売額を集計し検証を行う。	1.39	73.2	猛暑の影響により、作業時間が限られるため、目標達成できなかった。	猛暑による被害の対策を行い、作業時間の増加による収量の増加を図る。	猛暑の影響による生理障害、作業可能時間の短縮により、収量が減少した。夏季高温対策を進め、収量・品質の向上を図る。	該当なし